

平成 28 年度 普通会計・特別会計 決算

飯山市の平成 28 年度普通会計および特別会計決算がまとまりました。今回はその状況をお知らせします。

普通会計とは——
一般会計、福祉企業センター特別会計、ケーブルテレビ事業特別会計をあわせたものです。

歳入の決算額

区 分	決算額	対前年増減
地方交付税	49 億 5520 万円	5.2%↓
市 債	14 億 510 万円	60.5%↓
市 税	25 億 8465 万円	8.5%↑
国庫支出金	10 億 6169 万円	41.2%↓
諸 収 入	8 億 5201 万円	5.0%↑
県 支 出 金	7 億 2234 万円	4.4%↑
分担金・負担金など	30 億 6889 万円	23.7%↓
うち 寄 付 金	11 億 352 万円	36.0%↓
うち 繰 越 金	10 億 255 万円	22.3%↓
地方譲与税・各種交付金	6 億 2823 万円	10.1%↓

■市税の内訳

税 目	決算額	構成比	増減率
固定資産税	13 億 3941 万	51.8%	17.6%↑
市 民 税	9 億 1412 万	35.4%	2.1%↓
市たばこ税	1 億 6521 万	6.4%	3.1%↓
軽自動車税	8646 万	3.3%	20.6%↑
都市計画税	6999 万	2.7%	24.7%↑
入 湯 税	946 万	0.4%	6.1%↓

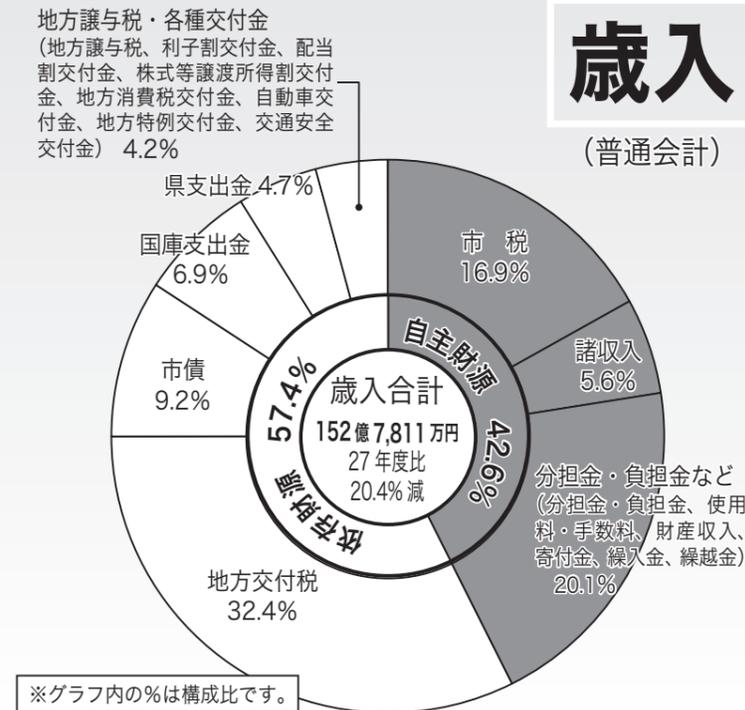
平成 28 年度の普通会計の決算額は、歳入（収入）152 億 7811 万円、歳出（支出）144 億 6939 万円となりました。
（1 万円未満四捨五入により端数処理）

歳入

普通会計の歳入について、市税は新幹線関連による固定資産税の増などにより前年度比 8.5% 増の 25 億 8465 万円となりました。地方交付税は 49 億 5520 万円です。普通交付税が前年度比 5.4% の減、特別交付税は 3.8% の減となり、あわせて 5.2%

歳入

（普通会計）



用語解説

【歳入】
 ■市税：市民税や固定資産税など、市に納められた税金
 ■諸収入：他の収入科目に含まれない収入をまとめたもの。延滞金、預金利息、宝くじ収益金などもこれにあたる
 ■分担金・負担金：分担金は、市の事業により特に利益を受ける者から、その受益の限度において徴収されるもの。負担金は、地方公共団体が、他の市や住民に課するもので健康診断受診者負担金が代表的なもの
 ■地方交付税：所得税などの国税のうち一定の割合を、市の状況に応じて国から配分されるお金
 ■市債：市が建設事業などの財源とするための長期の借入金で、償還が一会計年度を超えるもの
 ■国庫支出金：国から支出される、原則的に使途が特定されている負担金、補助金、交付金、委託金など
 ■地方譲与税：国が国税として徴収し、そのまま地方公共団体に対して譲与する税
 ■各種交付金：国税として国が徴収した財源を、一定の合理的基準によって地方公共団体に再配分されるお金

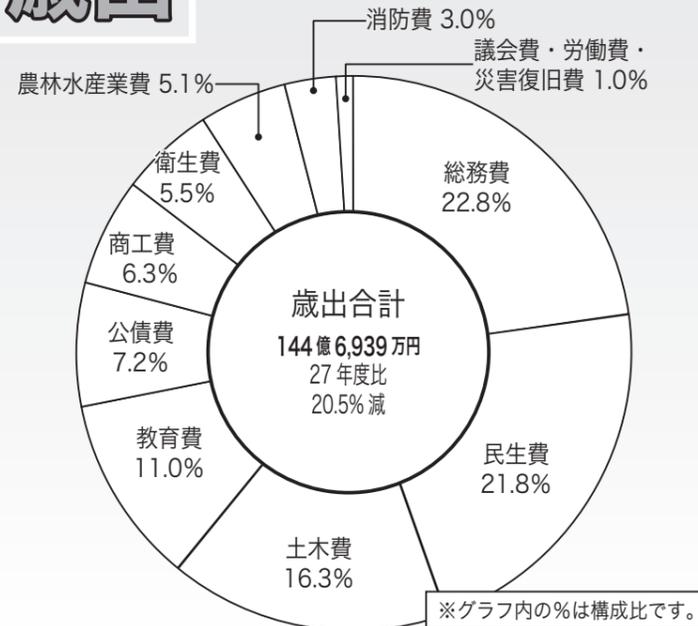
歳出

普通会計の歳出は、普通建設事業費が 19 億 8477 万円、前年度比 62.1% の減となりました。区画整理などの新幹線関連事業等が概ね完了したことにより減額となったものです。物件費についてはふるさと寄付金の減少などにより前年度比 15.4% 減の 25 億 5343 万円となりました。また積立金は前年比 29.4% 減の 8 億 8451 万円、4% 減の 8 億 8451 万円、維持補修費については、前年度の寡雪による影響により、63.1% 増の 7 億 489 万円となりました。

普通会計地方債残高は、過疎対策事業に伴う新たな過疎債の借入れ等により、前年度比 3.5% 増の 122 億 4654 万円となりました。今後とも国・県の動向や、経済状況などに注視しつつ適切な長期財政推計に基づいた節度ある財政運営に努めていきます。

（普通会計）

歳出



歳出の決算額（性質別歳出の状況）

区 分	決算額	対前年増減
物 件 費	25 億 5343 万円	15.4%↓
普通建設事業費	19 億 8477 万円	62.1%↓
人 件 費	18 億 9017 万円	0.8%↓
繰 出 金	18 億 7113 万円	0.2%↑
補 助 費 等	15 億 2427 万円	1.9%↓
扶 助 費	14 億 885 万円	8.1%↑
公 債 費	10 億 4641 万円	3.5%↑
積 立 金	8 億 8451 万円	29.4%↓
投資・出資金・貸付金、その他	13 億 584 万円	25.6%↑

歳出の決算額（目的別歳出の状況）

区 分	決算額	対前年増減
総 務 費	33 億 210 万円	18.4%↓
民 生 費	31 億 4619 万円	1.0%↑
土 木 費	23 億 5869 万円	55.9%↓
教 育 費	15 億 9643 万円	8.5%↓
公 債 費	10 億 4641 万円	3.5%↑
商 工 費	9 億 886 万円	1.1%↑
衛 生 費	7 億 8987 万円	1.9%↓
農 林 水 産 業 費	7 億 4163 万円	18.1%↑
消 防 費	4 億 3580 万円	3.0%↑
議会費・労働費・災害復旧費	1 億 4340 万円	17.3%↓

用語解説

【歳出】
 ■総務費：人事管理や財産管理、企画調整や地域振興、税務事務などに使われたお金
 ■民生費：高齢者や障がい者、児童福祉の推進などに使われたお金
 ■土木費：道路や河川、新幹線などの整備に使われたお金
 ■教育費：小中学校の管理運営や施設整備、および生涯学習の推進などに使われたお金
 ■公債費：これまでに公共事業などで借り入れたお金の返済に使われたお金
 ■商工費：商業や観光の振興および企業の誘致などに使われたお金
 ■衛生費：ごみの処理や健康増進事業などに使われたお金
 ■農林水産業費：農業、林業、畜産などの振興に使われたお金
 ■消防費：消防団の運営や常備消防の維持など、消防活動や救急活動に使われたお金
 ■議会費：議会運営に使われたお金
 ■労働費：労働行政に使われたお金
 ■災害復旧費：災害復旧のために使われたお金

平成 28 年度決算に基づく 健全化判断比率など

健全化判断比率には、「早期健全化基準」と「財政再生基準」があり、4 指標のうち各基準を1つでも上回ると「早期健全化団体」、「財政再生団体」へと移行し、財政健全化計画の策定などが義務付けられています。

【健全化判断比率】

指 標	27 年度	28 年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	13.83%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	18.83%	30.00%
実質公債費比率	11.1%	10.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	55.9%	43.6%	350.0%	

実質赤字比率、連結実質赤字比率

実質赤字額がないため（黒字のため）「—」で表示しています。

実質公債費比率、将来負担比率

前年に比べ実質公債費比率は0.4ポイント減少、将来負担比率は12.3ポイント減少しました。いずれの数値も国が定めた財政悪化を示す基準に達しておらず、健全な財政状況であると言えます。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、飯山市の健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標の総称）と、公営企業の資金不足比率を公表します。

【資金不足比率】

決算において資金不足を生じた公営企業がないため該当ありません。「資金不足比率」は各公営企業の資金不足額が、事業規模に対してどの程度あるかを示す数値で、基準値を超えると「経営健全化計画」を定める必要があります。

健全化判断基準とは・・・

実質赤字比率・・・一般会計などを対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

連結実質赤字比率・・・全会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

実質公債費比率・・・地方公共団体の収入に対する借入返済額の比率を示すもので、普通会計の公債費に下水道特別会計や水道事業会計などへの繰出金（公債費相当）と岳北広域等への分担金（公債費相当）を加算し、財政負担の度合いを判断するものです。

18%を超えると地方債発行について国や県の許可が必要となります。

将来負担比率・・・地方公共団体の一般会計などの借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの残高を現時点で指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。

350%を超えると健全化計画を策定し、財政の健全化を図らなければなりません。

土 木 費

- 除雪対策費・除雪機械整備（6億3590万円）
- 区画整理・駅周辺整備関連事業（3億5377万円）
- 道路新設・改良事業（1億7268万円）
- 市営住宅整備事業（4810万円）
- 協働のみちづくり事業（2469万円）
- 移住定住推進事業（2395万円）



民 生 費

- 介護・訓練等給付事業（4億3814万円）
- 児童手当給付事業（2億8899万円）
- 後期高齢者医療市町村負担事業（2億8531万円）
- 保育所運営事業（2億933万円）
- 医療給付事業（1億1114万円）
- 老人施設入所措置事業（5911万円）



総 務 費

- ふるさと寄付金推進事業（10億4797万円）
- 公共交通運行事業（7448万円）
- コミュニティ助成事業（2220万円）
- 区長行政事務委託事業（2090万円）
- 地域おこし協力隊事業（647万円）
- 輝く地域づくり支援事業（285万円）



教 育 費

- 中学校給食センター移転事業（5億1559万円）
- 城南中学校移転事業（1億2827万円）
- スポーツ振興事業（1730万円）
- 中学校スクールバス運行事業（1658万円）
- 学力向上総合対策事業（993万円）
- 小中学校ICT教育推進事業（449万円）



平成 28 年度 普通会計決算 主な使い道

特徴的な事業、生活に身近な事業
(1万円未満四捨五入)

商 工 費

- 信越自然郷DMO推進事業（6348万円）
- 観光局運行事業（4000万円）
- 広域観光推進事業（1570万円）
- 雇用促進住宅取得事業（1430万円）
- 起業支援ネットワーク推進事業（1053万円）
- 活力ある商業振興支援事業（759万円）



農 林 水 産 業 費

- 強い農業づくり交付金事業（1億3500万円）
- 中山間地域等直接支払い事業（8060万円）
- 農村多面的機能支払交付金事業（7063万円）
- 協働のみちづくり事業（670万円）
- 新規就農総合支援事業（550万円）
- 農産物販売推進事業（213万円）



消 防 費

- 非常備消防運行事業（7006万円）
- 消防防災施設整備事業（2557万円）
- 災害対策事業（502万円）
- 非常備消防活動服整備事業（399万円）
- 消防施設管理事業（39万円）



衛 生 費

- 岳北広域分担金（衛生関係）（3億1671万円）
- 地域中核医療機関支援事業（1億3413万円）
- 検査・予防接種関係事業（9762万円）
- リサイクル推進事業（2783万円）
- 医師招聘推進事業（558万円）
- 環境・ごみ減量・再資源化推進事業（223万円）



市内各保育園・子ども育成課子育て支援係 ☎03111 内線363

保育園入園のご案内

申込み

来年4月から新規に保育園への入園を希望されるお子さんの申請に必要な書類の配布を開始します。受付期間内にお申し込みください。新規のお申し込みのほか、現在の保育園から他園に移りたい場合、年度途中から入園を希望する場合なども、この期間にお申し込みください。

■以降に記載の認定を受けている
※認定を受けるには、保護者が次のいずれかの事由に該当することが条件となります。
①就労・就学
②妊娠・出産・育児
③病気・障害・親族の介護
④求職活動 など
認定を受けるための事由や期間等、詳しくは、入園案内の資料をご覧ください。また、飯山市では第3子以降の保育料を無料としています。

保育園に入園するには

飯山中央幼稚園 ☎02679
下の条件全てを満たしている必要があります。

- 保育者及び児童が飯山市に住民票を有している
- 満1歳に到達している（めぐみ保育園は6カ月）

園名	定員	延長保育	土曜	休日	連絡先
しろやま	60	7:30~19:00	○	○	62-5595
あきは	70	7:30~19:00	△	×	62-2461
木島	100	7:30~19:00	○	×	62-5888
秋津	70	7:30~19:00	△	×	62-0476
いずみだい	70	7:30~19:00	△	×	62-5889
常盤	80	7:30~19:00	△	×	62-5804
瑞穂	60	7:30~19:00	△	×	65-2515
とがり	100	7:30~19:00	○	○	65-4250
しらかば	30	7:30~19:00	△	×	子ども育成課
めぐみ(私)	150	7:00~19:30	○	×	62-2129

「○」一日実施、「△」13:00まで実施、「×」未実施

※しらかば保育園は、今年度休園中です

平成 28 年度 特別会計決算

- いずれも普通会計に算入していないものです。
- 下水道事業特別会計は8ページでお知らせしています。

特別会計名	歳入	歳出	差引残額
公共下水道事業	7億9510万円	7億7493万円	2017万円
国民健康保険	29億1832万円	29億1331万円	501万円
特定環境保全公共下水道事業	3億7664万円	3億6545万円	1119万円
簡易水道等	3億1059万円	1億8622万円	1億2437万円
介護サービス事業	837万円	837万円	0円
農業集落排水事業	3億4350万円	3億3596万円	754万円
介護保険	27億9293万円	27億5168万円	4125万円
後期高齢者医療	2億4002万円	2億3848万円	154万円
駐車場事業	2779万円	2045万円	734万円

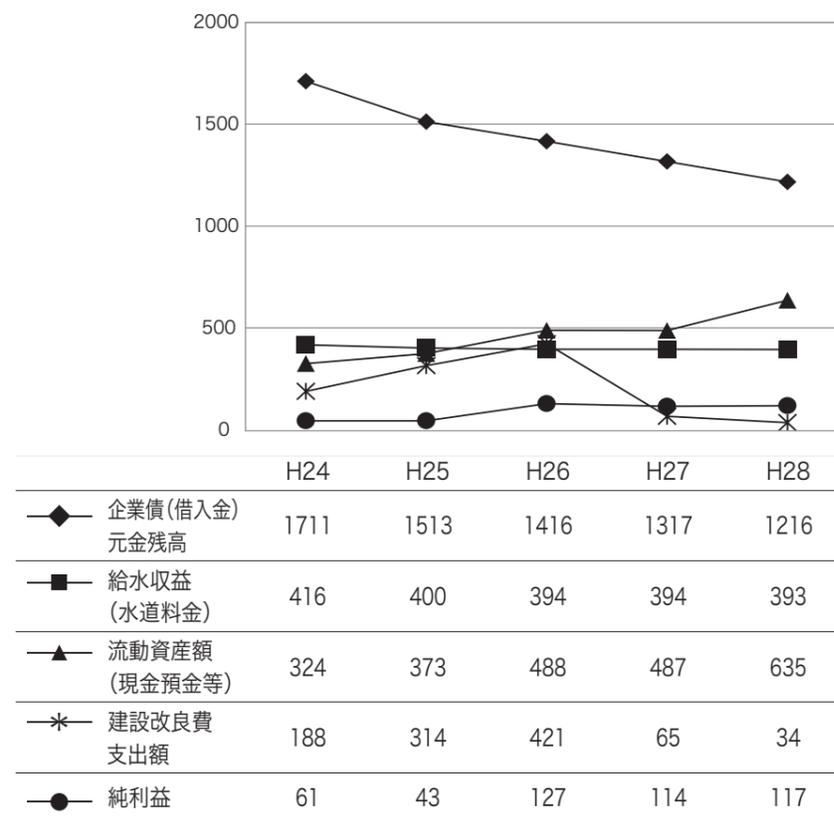


上水道事業の経営状況（決算）をお知らせします

— 安心・安全でおいしい水の安定的な供給を —

水道事業は、地方公営企業として常に経済性を発揮しながら、計画的に事業を実施しております。引き続き老朽管更新工事や、漏水個所の特
定と修理等を着実に有収率の向上を図り、経営の改善に努めます。
今後も「安心・安全でおいしい水の安定的な供給」をいたしますので、市
営水道へのご理解とご協力をお願いします。

◆平成24年度から平成28年度までの 経営状況(単位:100万円・税抜)



- 借入金は、水源開発や施設・設備の新設、更新を行うための財源として借入れたお金です。借入残高は、平成12年度ピーク時に比べ概ね3割程度となっています。
- 水道料金は、加入されている皆さんにお支払いいただいているお金です。人口減少や節水意識の向上などにより年々減少しています。
- 現金預金等は、将来の施設・設備の更新等に使うために蓄えているお金です。
- 建設改良費は、施設・設備の新設、更新を行った費用です。必要に応じ老朽化が進んでいる施設等の更新を行っています。
- 平成26年度から新たな会計基準の適用の影響により、純利益は増加していますが、償却資産の取得に係る補助金等の収益化に伴い増加する利益は現金収入を伴わない会計上の利益であり、経営を資金面で好転させるものではありません。

経営戦略策定に着手しています

中長期の施設の更新需要や財政収支の見通しを踏まえたうえで、水の安定供給と事業経営の健全化を図るため、今年度から2ヵ年をかけて上水道事業の経営戦略を策定します。今年度は水源や配水池における老朽化の進行状況を把握するため機能調査を実施します。

策定スケジュール(予定)

時期	内容
29年度 8月～	配水池等の施設機能調査、将来見通しの把握
～11月	更新基準・管路の重点部分の設定等による将来見通しの見直し
30年度 12月	経営戦略(案)の公表
3月	経営戦略の公表

平成28年度 上水道事業の給水状況

年度末の給水戸数	6,429戸
内 家 庭	5,793戸
事業所・工場	540戸
官公署・団体他	96戸
年度末の給水人口	1万6819人
年間の総配水量	230万6979m ³
1ヵ月の平均配水量	19万2248m ³
年間の有収水量	182万7285m ³
1ヵ月の平均有収水量	15万2274m ³
有 収 率	79.2%

有収水量：水道料金請求の対象となった水量

長寿をお祝いして

市内高齢者の方を祝賀訪問

9月25日から29日にかけて、市内のご長寿のお宅を祝賀訪問しました。この訪問は毎年、敬老の日の記念として行われており、祝状、祝品の贈呈などを行っています。

今年度100歳になられる方は7名で、そのうちご希望のあった2名のお宅と市内で最高齢の方1名のお宅に伺い



県3位のご長寿 佐藤志ずさん

ました。
◆長寿おめでとうございます
佐藤トミエさん(常盤地区小沼)
高橋敏子さん(飯山地区愛宕町)
月岡ヨシノさん(太田地区大深)
関吉行雄さん(木島地区上新田)
清水いつさん(太田地区大深)
伊藤竹子さん(飯山地区肴町)
小野沢みどりさん(太田地区五束)
市内最高齢(109歳)
佐藤志ずさん(木島地区天神堂)

皆さん、ご長寿、本当におめでとございます。お体に気を付け、これからもますます元気で過ごしてください。



インフルエンザ予防接種についてお知らせします

保健福祉課 健康増進係 ☎62-3111 内線 181・182・187・174

子どものインフルエンザ予防接種費用を補助

今年度より、子育て世帯の負担軽減と子どもの健康増進のため、子どものインフルエンザ予防接種費用の一部を補助します。

- 対象者 飯山市に住所があり、接種日現在で1歳以上 中学3年生までの子ども
- 実施期間 平成29年10月1日～平成30年3月31日
- 補助金額 1人1回につき上限2,000円(接種費用が2,000円に満たない場合はその実費)
12歳以下は2回まで、13歳以上は1回まで補助します
- 申込み方法 下記の医療機関に直接お申込みください

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
飯山赤十字病院	62-4195	片塩医院	62-2136
小田切医院	62-2039	いいやま診療所	67-0100
服部医院	62-2816	戸狩診療所	65-3995
清水医院	62-2351	みゆき会クリニック	63-2560
畑山医院	67-2888	今井こども医院(中野市)	0269-24-7755

※飯山赤十字病院は完全予約制となります。
※接種の際は必ず医療機関へ確認・予約をしてください。
※接種の時は保護者が同伴し、必ず母子手帳をお持ちください。

■指定医療機関以外で予防接種を受ける方
接種後、市への補助申請の手続きが必要になります。詳しくは保健福祉課健康増進係にお問い合わせください。

高齢者のインフルエンザ予防接種実施

今年度も、インフルエンザの予防接種が始まります。希望される方は各医療機関へお申し込みのうえ接種をお願いします。

- 対象者 飯山市に住所がある方で、
①接種日現在で65歳以上
②60歳以上65歳未満の方で心臓、腎臓、呼吸器等に重い病気のある方(身体障害者手帳1級程度)
- 実施期間 平成29年10月1日～平成30年3月31日(医療機関により異なる場合があります。飯山赤十字病院は11月1日から受付となります)
- 接種費用 1,000円(1人1回に限ります)
- 申込み方法 医療機関に直接お申込みください
- 接種できる市内医療機関

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
飯山赤十字病院	62-4195	片塩医院	62-2136
小田切医院	62-2039	北信州診療所	65-1200
服部医院	62-2816	いいやま診療所	67-0100
清水医院	62-2351	戸狩診療所	65-3995
畑山医院	67-2888	みゆき会クリニック	63-2560

■市外・県外で予防接種を希望する方
飯山市に住民登録を有する方が病院や施設等に入院、入所しているため、市外または県外での接種を希望する場合は保健福祉課健康増進係にお問い合わせください。



9月10日に松本市で開催された第17回長野県障がい者スポーツ大会。好成績を取めた選手たちが10月2日に市役所を訪れ、市長に成績報告を行いました。

選手たちが10月2日に市役所を訪れ、市長に成績報告を行いました。ゲートボール(関谷勝さん・元山伊津子さん・和里田一秀さん・小

長野県障がい者スポーツ大会出場選手 選手たちが市長に報告

山忠夫さん・山崎正孝さん)は銅メダルを獲得。高澤健さんは卓球で金メダル。唐木優気さん・齊藤正臣さんそれぞれ400m走と100m走に出場し銀メダルを獲得しました。竹田光一さんはフライングディスクで金メダルを獲得。竹田さんは今年28日から愛媛県で開催される全国障害者スポーツ大会に長野県代表として出場されます。